

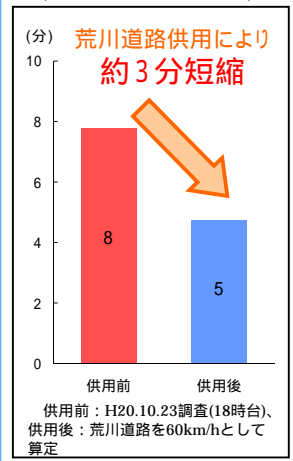
# 日常の買い物・通院など地域住民の生活利便性が向上

荒川道路と乙バイパスの整備によって、旧荒川町の東西方向のアクセスが改善。  
 国道7号沿道に立地する商業施設や県立病院・鉄道駅への所要時間短縮や走りやすさ向上によって、乙バイパス周辺住民の生活利便が向上。  
 旧113号の通過交通が転換し、旧国道113号沿線における生活の安全・安心度が改善。

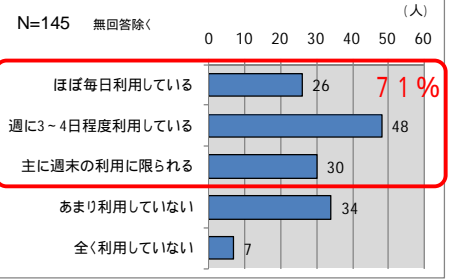


## <乙バイパス周辺地区では>

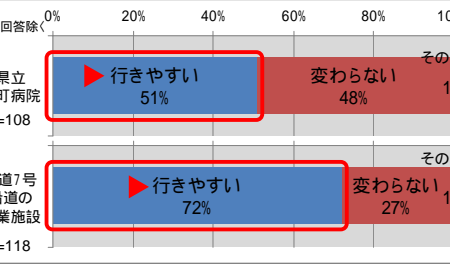
### 供用前後での所要時間比較 (十文字交差点～乙交差点)



### 荒川道路を日常利用していますか？ 注1



### 行きやすくなったと感じる施設はありますか？ 注1



## <坂町地区 国道7号沿道の施設>



### 地区住民の声

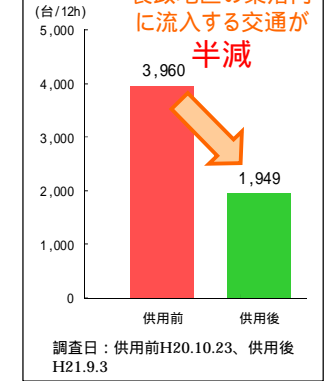
『高齢でも車を運転しないと生活がとても不便。道路開通により国道7号へ出るのに今までには考えられないほど走りやすくなりました。』  
 [70歳以上、女性]

資料：「荒川道路の整備効果把握を目的としたアンケート[乙BP周辺地区]」より

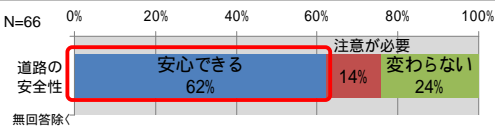


## <旧国道113号沿線地区では>

### 旧113号の交通量変化(断面A)



### 道路の安全性はどのように変わりましたか？ 注2



注2：「荒川道路の整備効果把握を目的としたアンケート[旧国道113号沿線]」(対象：旧国道113号沿線住民150名、回収76(回収率51%)、H22.1.16配布)